



# 平成20年度(2008年度)決算をお知らせします

生活に欠かすことができない「安全でおいしい水」を安定的に低廉な料金でお届けすることが、県営水道の使命です。今後も経費の削減などにより効率的な経営に努めてまいります。



※費用の「維持管理費」は、修繕費、薬品費、動力費(電気代)等です。  
※各年度で生じた利益は、建設改良事業(下記参照)等の財源として使われています。

## 平成20年度実施の主な建設改良事業

皆様からいただいた水道料金は、水道水を作るための経費のほかに、安定して水道水を供給するために行う工事(建設改良事業)の財源として使われています。

### 【安定供給のための取り組み】

安定した配水を行うため、送・配水管の布設・布設替工事を行いました。

- 送配水管布設工事  
施工延長：15.3km 事業費：4億637万円
- 送配水管布設替工事  
施工延長：24.9km 事業費：8億4,782万円

安定した配水量を確保するため、長野市篠ノ井に、篠ノ井調整池の築造工事を行いました。

- 篠ノ井調整池築造工事  
容量：8,000立方メートル 事業費：3億140万円

### 【震災への対応】

送配水管布設・布設替工事にあわせ、主要な水道管の耐震化を行いました。

- 上記送配水管布設・布設替工事のうち  
施工延長：8.3km 事業費：5億6,536万円



篠ノ井調整池

## 検針員が漏水点検を行う場合があります。

県営水道では、漏水を早期に発見するため、検針員が、検針の際に漏水点検を実施することとしました。ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、この点検は、検針の際に必ず実施するものではありません。

また、お客様に立ち会いをお願いすることはありません。

ご不明な点がございましたら、お近くの水道管理事務所にお問い合わせください。

